

那珂川町図書館

オススメの1冊

『早朝始発の殺風景』

青崎有吾／著 集英社 一般書【F 7オ】

さわやかな朝の描写から始まり、駅のホームで電車を待つ主人公の男の子。早朝始発の電車ではかに乗客もいないかと思いきや、開いたドアの先には先客がいて、それはクラスメイトのあまり接点のない女の子でした。登校には早すぎる時間、二人はお互い相手がなぜこの電車に乗ったのかを探りあっています。目的の駅に着くまでの間、二人の会話の中で紐解かれていく謎の真相とは…。表題作の「早朝始発の殺風景」は、最後まで読んだ後、きっとまたはじめから読み直す人が多いのではないのでしょうか。

この本は同じ時間軸で、それぞれ異なる場所・登場人物で描かれる短編集です。作者は『体育館の殺人』で鮎川哲也賞を受賞されている推理作家の青崎有吾さん。

それぞれのお話の中に登場人物の抱える事情があり、それによって生じる少し不自然な行動の理由を解き明かしていく“謎解き”の要素が入っています。表題作ではずっと“電車”の中で話が進んでいきますが、ほかのお話も同じように最初から最後まで同じ場所で完結しているという点も面白いのではないのでしょうか。

ちなみに、エピローグでは「早朝始発の殺風景」の男の子視点で今までの物語に出てきた人々が登場します。短編集ですが、お話の世界観はつながっているので、すべてのお話を読んだうえでエピローグを読むとまるでカーテンコールのように感じられました。

『なるほど！魚の漢字』 学研プラス 児童書【487 ナル】

「鰈」「鱈」「鮪」……この漢字、なんて読むか知っていますか？正解は、「カレイ」「タラ」「マグロ」です。スーパーなどではカタカナで書かれていることが多いですが、漢字ではどう書くのかわからない魚も多いのではないのでしょうか。この本では、色々な魚の漢字について、読み方やその漢字になった意味などがわかりやすく書かれています。

あなたの好きな魚はどんな漢字で、どういった意味があるのか、気になりませんか？クイズ形式になっているので、何問解けるかチャレンジしてみたり、親子や友達同士でクイズを出し合ったりしても楽しい本です。ぜひこの本を読んで魚の漢字に強くなりましょう！

那珂川市図書館司書（みず）